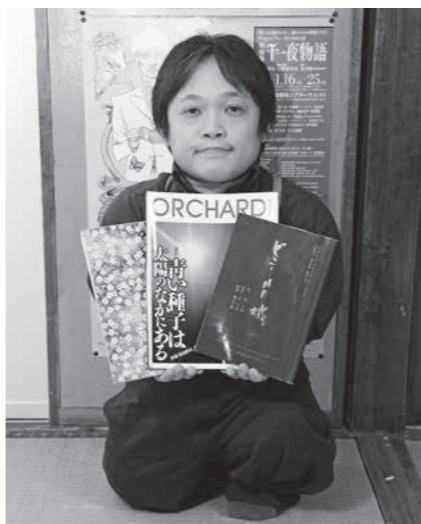




障害は個性 演技力が認められ舞台で活躍

野澤 健さん(荒木・32歳)

今月は、舞台表現グループbug-decays(バグデペイズ)に所属し、役者やパフォーマーとして活躍する野澤健さんを紹介します。生まれながらにして軟骨異常症を患っており、低身長というハンディキャップを抱えている野澤さん。普段はNPO法人C.I.L.ひこうせんでイベントなどの企画・運営や重度障害者の地域生活の改善などに携わっています。平成18年にbug-decaysの演出担当の宗方勝さんに声を掛けられ、舞台の世界に足を踏み入れました。それまで演技経験がなかったという野澤さんは「最初に誘われた時には戸惑いました。しかし、話を聞いていたうちにやってみたくまりました」と役者になったきっかけを振り返ります。ストーリーの無いbug-decaysの舞台では、身体の動きを中心とし



た表現を追求。その後も、平成23年に彩の国さいたま芸術劇場で行われた「ロミオとジュリエット」や、一昨年の蜷川幸雄さん演出の音楽劇「青い種子は太陽のなかにある」など他劇団の舞台にも出演し、演技の幅を広げました。そこでは、健常者の役者の方との身長差が生み出すコミカルな表現で観客を惹きつけています。「日常生活では、障害を持っていることで好奇の目や、かわいそうだという目で見られることがあります。しかし、舞台上で良い表現ができれば、障害は個性になり、一人の役者として感動を与えられるところにやりがいを感じています」とこやかに話します。3月9日から世田谷パブリックシアターで行われる夏木マリさん演出の舞台「不思議の国の白雪姫」への出演が決まっている野澤さん。4月2日にロームシアター京都サウスホール、さらに4月25日にはパリ・ルーヴル美術館で同舞台の公演が控えています。2月から始まる本格的な稽古を前に「しっかりと準備をして少しでも良い演技をお客さんにお見せしたいです」と意気込みます。「今までは背が低いことで目立っていましたが、それだけではなく演技力を伴った表現力の豊かな役者になりたいです」と目指す理想の俳優像について力強いまなざしで語ってくれました。

はじめまして



平成28年4月生まれのお子さんを募集します

○2月1日水~28日火に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。 ○応募者多数の場合は、3月2日(休)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成28年2月生まれのおともだち ★★★



氏田 貴理哉ちゃん(佐藤) 平成28年2月5日生まれ 父・晶規さん 母・享子さん 「やさしい子に育ってね☆」



細田 彩愛ちゃん(藤原町) 平成28年2月27日生まれ 父・孝次さん 母・聡美さん 「笑顔いっぱい♡ わが家の天使」



鈴木 大和ちゃん(持田) 平成28年2月24日生まれ 父・孝文さん 母・ゆかりさん 「心の大きな男の子になってね」



柿沼 依美ちゃん(持田) 平成28年2月14日生まれ 父・淳さん 母・真緒さん 「我が家のアイドル えれんちゃん」



星野 颯佑ちゃん(持田) 平成28年2月26日生まれ 父・明彦さん 母・智恵さん 「やさしく元気に育ってね☆」



高木 創介ちゃん(持田) 平成28年2月26日生まれ 父・賢一さん 母・泉さん 「一緒に成長していこうね」

ぎょうだの会社を クロスアップ!!

株式会社甲世社

段ボールを中心に魅力を伝える梱包材を提案



会社プロフィール

代表取締役 大屋 一郎 【事業内容】紙容器製造業 【住所】長野5-15

昭和48年6月に創業した株式会社甲世社は段ボールを中心とした梱包材を製造している会社です。「あらゆる商品に対して対応する」ことをモットーとしている同社では、食品や建材、化粧品など幅広い商品を対象とした梱包材を提案。最適な製品を提供するために、企画・設計からパッケージデザイン、製作まで一貫して携わっています。お客様の商品を保護するだけでなく、その魅力を消費者に伝えられるようなデザイン性のある梱包材を、コストや組み立てやすさも考慮しながら試作を重ね、作り上げていくそうです。多くの梱包材を取り扱う同社が中でも得意としているのが、ワンタッチケースです。これは広げるだけで底が組み上がり箱状になる段ボールで、組み立てやすく、テープを貼る手間が要らないことから、作業現場や通販の商品発送などで需要が高まっているとのこと。代表取締役の大屋 一郎さんは「他社に先駆けていち早くワンタッチ

ケースの製造に取り組み、段ボールを打ち抜くプレス加工や自動で貼り合わせる機械の調整など蓄積された独自の技術を磨いてきました。機械スペースも小さなものから2メートル近いものまで柔軟に対応することができまふ」と自信をのぞかせます。特にB式ワンタッチケースというテープを必要としない形式の段ボールケースの自動貼りの作業は同業他社からも依頼があるそうです。また、同社は今、リボードという素材に注目しています。「リボードは、高い強度をもった段ボールで、表面の加工がしやすい上に、軽くて組み立てやすいという特徴を持っています。まだ認知度は低いものの、この素材を使った簡易家具や展示用のディスプレイなど新たな商品開発も考えていきたいです」と大屋さんは今後の展望について話してくれました。創業以来、常に先のニーズを捉えてきた同社はこれからも段ボールの新しい可能性を提示してくるでしょう。

私の作品

- 俳句 桜町 長谷川さく 生きてこそ百一才や初御空 富士見町 おおば水杜 どっちみち死ぬば塵なりおお囃 矢場 高田みつ子 チェロを弾く指嬬やかに冬の園 持田 斉藤 協二 妻病みて心許なく年暮るる 荒木 藤田 栄之 初春や変らぬ暮し良しとする 向町 渡月 峯 左手はママに右手は千歳飴 佐間 蛭田 和夫 おさな児の粹なしくさや花苺 矢場 鈴木かづの とうに越す平均寿命冬柏 富士見町 鈴木スイ子 初雪の一夜に積もる信濃宿 須加 蓮 陽子 賀状手に青春の日々蘇る (三沢 一水 監修)

◎皆さんの作品を募集しています。 ◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で 広報広聴課へご応募ください。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。